

看護しずおか

KANGO SHIZUOKA

平成 24 年度

Vol.5

特集 役立てていますか？プチ資格（P4～5）

先人にきく 忘れられない看護（P3）

仲間の力を結集しよう！一人でも多くの保健師の入会を！（P6）

あけましておめでとうございます



市立湖西病院

会員数…………… 18,601 名
保健師…………… 532 名
助産師…………… 712 名
看護師…………… 16,269 名
准看護師…………… 1,088 名
(平成 25 年 1 月 7 日現在)



社団法人 静岡県看護協会



ホームページ
<http://www.shizuoka-na.jp/>

静岡県看護協会

検索

心を揺さぶる

会 長 望 月 律 子



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会長に就任し、初めて迎える新年です。今年は静岡県看護協会が公益社団法人に移行する記念すべき年です。新法人として、実り多い事業が展開できますよう、皆様と共に邁進したいと思います。引き続きのご支援を心からお願い申し上げます。

さて、私たちの仕事は、公益に移行しても、ケアの精神を活かした事業を展開していくことには変わりなく、さらに看護職の専門性を活用して地域に根差した活動を強化していくことになります。臨床においては、煩雑化する医療環境の中で、患者さんの権利を守り、意思決定への支援も益々重要な役割になっています。

先日、スポーツ界から、相手の心を揺さぶり、固い決心を溶かしたニュースがありました。ご存じの方も多いと思いますが、大リーグ入りを希望していたスーパー高校生の大谷翔平選手に、日本ハムの大淵ディレクターが「大谷翔平君夢への道しるべ 日本スポーツにおける若年期海外進出の考察」という30枚もの資料を提供し、見事日ハムに獲得しました。交渉するときの相手との距離も検討し、用紙サイズまで工夫したという、周到な準備の成果です。そこには相手への最大限の関心を持ち、ニーズを捉えた働きかけをしたこと、熱意や誠意だけではなく、客観的なデーターを示したことで心を揺さぶることができたのだと思います。看護も相手の生き方に変化を起こす仕事であり、治療方針にも自ら意思決定できるだけの情報が提供できる支援者でありたいと思います。心だけではなく、専門職としての知識・技術をさらに磨き、専門職ならではの働きかけが相手の心を揺さぶることになるでしょう。

今、看護界はまさに人手不足。自分の働きかけが相手の生き方に関わる価値ある仕事であることに誇りと魅力が実感できるような1年になりますよう、協会としても心を籠めて、そして、関係機関の心に響くような客観的なデーターを活用しながら重点事業に取り組んでまいります。

平成24年度 第3回理事会報告

開催日時 平成24年12月18日(火) 午後3時30分～5時20分 会 場 静岡県看護協会 第1会議室

【出席者】望月会長・赤池副会長・西本副会長・古田専務理事・大塚常務理事・齋藤常務理事・平井理事・神谷理事・中野理事・村本理事・仁科理事・鈴木理事・渡邊理事・今西理事・神原理事・大川理事・宮地監事・荒尾監事・五十嵐事務局長・青木ナースセンター所長
【欠席者】塩田理事・徳永理事・戸塚監事

1 協議事項

- (1) 公益社団法人静岡県看護協会理事会規則について
- (2) 第62回通常総会提出議案について
- (3) 平成24年度補欠外部理事の承認について
- (4) 諸規程の改定
 - ・公益社団法人静岡県看護協会役員等の推薦及び推薦委員会に関する規程
 - ・公益社団法人静岡県看護協会選挙及び選挙管理委員会規程

2 報告事項

- (1) 入会申込者の承認について
- (2) 内規の改定について
 - ・講師謝礼及び旅費支払内規 他
- (3) 平成25年秋の叙勲・褒章候補者、日本看護協会会長表彰候補者の推薦
- (4) 平成25年度自民党静岡県支部連合会厚生問題対策連絡協議会への要望事項
- (5) その他

静岡県看護協会役員立候補の届出(募集)について

平成25年6月27日定時総会において、任期満了となる役員の選任を行いますので、立候補及び受付期間についてお知らせします。(任期は平成25年6月定時総会～平成27年6月定時総会終結まで)

公募役員	副会長1名、専務理事1名、常務理事1名、助産師職能理事1名、看護師職能理事1名
立候補の方法	役員に立候補しようとする者は、正会員5名以上の推薦を受けて届け出なければならない。 (細則第19条より)
届出の方法	立候補届け出用紙に記入の上、下記宛先に郵送してください。用紙は事務局に請求するか、静岡県看護協会ホームページ【お知らせ】情報からダウンロードしてください。
宛先 お問合せ	社団法人静岡県看護協会 総務部 〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号 エスパティオ3階 電話 054-202-1750
締切日	平成25年2月26日(火)

あなたも代議員を目指しませんか!

平成26年度日本看護協会代議員及び予備代議員公募のお知らせ

推薦委員会では、平成26年度の代議員10名と予備代議員21名を公募します。看護協会の事業に参画するチャンスです。尚、平成26年度日本看護協会総会の開催日時・日程及び会場は未定ですが、全日程への参加ができる会員の方に限ります。積極的に応募してください。

応募期間 平成25年2月1日(金)～2月14日(木)
応募要項 往復はがきに下記事項を記入し、静岡県看護協会へ送ってください。
記載事項 ①代議員か予備代議員の別 ②氏名 ③職種 ④勤務先 ⑤連絡先住所(自宅または勤務先)
宛 先 〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ3階
社団法人静岡県看護協会 推薦委員会 宛



忘れられない看護

戦前から戦後の混乱期、そして高度成長期の社会の中で、助産師として保健師として活躍された“肝っ玉かあさん”藤本一乃さんにインタビューしました。
(平成22年8月にインタビューしたものです)



プロフィール 藤本 一乃

大正11年12月7日生まれ
長く静岡赤十字病院に奉職し助産師として活躍された。
その間、静岡県看護協会や看護連盟の役員を歴任された。

看護婦になるのも悪くない

親戚に医者がいって遊びに行ったら、診療を「手伝って」といわれて、手伝っているうちに、“看護婦になるのも悪くない”と思いはじめて…それが始まりだった。それで医師会の看護婦養成所にいき、検定試験で看護婦の資格をとった。

この時代は全国的に、今で云う無介助分娩だった。夫がとりあげたり、地域のいわゆる「とりあげばあさん」が扱っていて、助産婦などの専門家が関わるのが少なかった。産褥熱や死産、新生児死亡も多かった。そこで、いろいろ考えて助産婦学校へ行こうと思った。

静岡市の秋山産婦人科病院の院長が助産婦の養成をしていて、秋山産婆学校っていう助産婦学校を運営していた。そこで2年かけて、お産の取り扱いや産前産後のことについて学んだ。1年生のときは机で学んで、2年生では病院にいったお産する人に付き添うということをした。

その後もっときちんと勉強したくなった。苦労は若い時にするもの、勉強するのは今しかないと考えた…。だから、私は聖路加病院を希望した。若かったから東京に憧れた。東京は日本のトップだと思っていたから。外国の人のお産も扱うし、都会の人のお産もできる。

そういうことで、聖路加病院の助産婦専修科（公衆衛生看護学専修科？）に1年行った。当時は聖路加病院の看護婦は嫌われていたけど。アメリカに加担していると、あの時代は言われていて…。卒業してからは2年間程、聖路加病院に助産婦として勤めた。それが昭和15年ごろ。

だんだん戦争が激しくなってきたため、実家の家族が東京は心配ということで、「帰ってこい、帰ってこい」と言われて、とうとう静岡へ帰ってきた。

丁度この頃（昭和16年・保健婦規則が制定）、40日という短期間の講習で検定試験を受けて保健婦の資格を得ることができるようになった。そこで、静岡に帰ってきてから、静岡県立保健婦養成所に半年通って保健婦の資格を取った。

地域での保健・助産活動

保健婦の資格を取って、焼津村の役場で保健婦として働いていた時、県から周智郡森の一宮村で保健婦が欲しいと要請され、そこで働いた。

職場は診療所だった。医師1人、看護婦1人、保健婦が1人いた。焼津は遠いので、診療所に私の寝泊りする部屋を作

てくれた。二間つづきで、そこでお産もできるようになっていた。住居兼職場だった。そこを拠点に助産婦、保健婦の活動をした。

当時は、産めよ殖やせよの時代で、母子保健は国策にそった大きな仕事だった。保健婦・助産婦として、妊婦の家庭訪問、診察、そしてお産があれば出向いていく等毎日すごく忙しかった。

ある電話のない家では、もちろん当時は自家用車もないので、ご主人が自転車に乗って迎えにきてくれた。お産に必要なものを一式入れた助産道具バッグを自転車の前の籠に入れ、私は自転車の後に乗ってお産する家へ行った。夜暗中、でこぼこの道を自転車で走った。私は振り落とされないよう自転車に必死でしがみつकिながら、籠ではバッグが飛び跳ねているので、自分もバッグもいつ落ちるかハラハラしたのを、今でも思い出す。



終戦直後のこの頃は、第1次ベビーブームの時代で出生率が高く、1人で1か月に30件位の分娩を扱っていた時もあった。

一宮には開業の助産婦さんがいたが、村の診療所ということで、お産は全部私のところに来ていた。村だからそんなに沢山お産があるわけではないので、私がみんな仕事をやっちゃうからその人の仕事がなくなった。開業の助産婦さんの仕事が無くなってしまい、気の毒なのでその仕事をやめた。

その後、焼津近辺で助産婦として開業した。その頃は、9割近くが開業助産婦による分娩だったので、毎日バッグをもってお産にいった。そんなことをやっていたら、“病院で、人が足りなく困っているから働かないか”といわれ静岡赤十字病院で働くことになった。

次号（Vol.6）は助産師外来などのお話です。

収めていますか？

つ。ち資格

看護職としての資格に加えて、その他のちょっとした資格や特技を活用することによって、患者さんやその周りの人々に感謝されることはありませんか？

今回は、その資格や特技を仕事に活かして患者さんなどに喜ばれるだけでなく、自分自身も達成感・充実感を味わっている方々を紹介します。

あなたも、“これだけは自信がある”ものを見つけてみませんか。



医療法人社団盛翔会 浜松北病院

浅野 暁子



パンパンコリコリ癒します

ーリンパセラピストー

私がリンパセラピストの資格を取得しようと思ったきっかけは、看護師になって十数年。年齢を重ねるとともに夜勤はきつくなり、肌はボロボロ。足は浮腫んでパンパン。お風呂に入って一晩ぐっすり寝たら翌日にはスッキリという年齢は過ぎ、どうにも修復不可能な状態に陥った。

そんな時、新聞でリンパセラピスト養成講座募集の案内を見て、自分の体は自分で癒そうと思い資格取得に踏み切った。

しかし、現実には厳しく、マッサージのスピード・力加減・コリを見つけてほぐすなどの技術の習得が難しく、何度も実技試験に落ちた。そしてやっとの思いで試験に合格し資格を取得。いざ自分へマッサージを施すも身体こそ楽になるものの完全には癒されず、マッサージは他人に施術してもらってはじめて心も体も癒されることを実感。

折角苦労して取得した資格。この先看護師の仕事が出来なくなる時が来たらこの資格を活用していこうと思う。

社会保険 桜ヶ丘病院

北條加奈美



あなたの不安 和らげます

ー内視鏡技師ー

私は昨年、内視鏡技師の資格を取得しました。内視鏡業務は検査だけでなく、治療にも携わることができ、非常に奥が深い分野です。

主に患者への検査説明、通常検査の観察・介助、特殊検査や内視鏡下での治療の直接介助に携わっています。その他、吐血などの緊急内視鏡にも対応しています。

私たちは内視鏡の専門職として、患者の苦痛を知るために、自ら胃カメラを経験したり、下剤を内服するなど、患者体験をしながら、より患者の立場に立った看護ができるように心がけています。

また、他部署に向けた勉強会を開催し、内視鏡検査への理解を深め、興味を持ってもらえるよう活動しています。

検査に対し様々な不安を抱えた患者が、少しでも安心して、安全に検査を受けられるよう、より確かな技術と知識を身につける努力をしています。



聖隷富士病院

矢崎 愛美

蘇生トレーニングの楽しさを多くの人に

ーICLS(医療従事者のための蘇生トレーニング)ー

係長に「楽しいから行ってきな」その一言でICLSにハマってしまいました。始めは「人を助ける為に勉強しよう！」と思っていましたが、現在は「勉強しよう」もそうですが「受講者1人1人に学んでもらいたい。どう教えたら分かりやすいか」などインストラクターの立場からいろいろな角度で勉強させてもらってます。

院内でのICLS開催は1年に1回程度の為、他のインストラクターと院外での活動を中心に行っています。院外での活動は、受講生にコメディカルも多く、もちろん初対面お互い緊張しますが、他のインストラクターの助けもあり、いつも笑いがあるコース開催になります。

今後の課題は、自分達や受講生だけの勉強だけでなく次のインストラクターを育てていくことだと思っています。なかなか時間が無いなかでの活動ですが、他インストラクターとワイワイ楽しくやっています。



NPO 法人
日本コンチネンス協会
静岡学習会
有限会社 きちっと
代表 佐藤 文恵

気持ちよい排泄を目ざして ーコンチネンスアドバイザー（排泄ケアの専門家）ー

私がハマっているのはコンチネンスケア。日本コンチネンス協会は、すべての人が気持ちよく排泄ができる社会をめざす市民ボランティア団体で相談・啓発・教育・研究開発などの事業を行う。

総合病院での排泄障害を持つ患者・子どもたちとの関わりを機に、その後 20 数年のコンチネンス活動がご縁で、排尿障害・訓練治療の外来、ストーマ排便ケア・訓練治療の外来の 2 施設でコンチネンスアドバイザーとして専門外来を担当している。日本老年泌尿器科学会、大腸肛門機能障害研究会などとの災害支援や相談事業での協力、トイレ研究所、べんの研究室などの社会活動とのコラボなど活動は幅広く充実している。

昨年、お困りユーザとお助けサポータの地域共生・助け合いサロンを始め、来週はおーみずくん、うんちまんの出前講座で小学校を訪問する。

世間では 3. 11 以来ボランティアの認識が大きく変化している。今年も私は、やはりコンチネンスにハマった 1 年になるでしょう。

綺麗にしてもらって良かった…

ーエンゼルメイクー

「亡くなられる患者さんのために、私にできることは…」と思っていた時に会ったのがエンゼルメイクです。これは、これまで私が行ってきた旅立ちの化粧の概念とは全く違い、「お別れのための、おめかし」でした。残されたご家族が亡くなられた方を偲び、そして悲しみを癒すものでもあります。「こんなに綺麗にもらって…、長いことお化粧したこともなかったから…ありがとう」と、ご家族にとってもよるこんでもらっています。穏やかな顔は、故人への思いを一層つらせるようです。私も、ご家族から感謝の言葉をいただくと、とても充実感を覚えます。

“こんなによろこばれるエンゼルケアをもっと多くのスタッフに知ってもらいたい”との思いから、院内で勉強会を開き継続的に勉強しています。参加者からは「メイク後は、病気の苦しさが消えている」などの感想を多く聞きます。エンゼルケアはグリーフ（悲嘆）ケアの一部です。これからもご家族のためにエンゼルケア技術の向上に努力したいと思います。

藤枝平成記念病院

柴田 祥枝



いつまでも自分の足で生活するために

ーフットケア指導士ー

近年、糖尿病患者の増加と罹患年数の長期化により、足病変のハイリスク患者が増加しています。些細な傷がきっかけで感染をおこし長期療養が必要になったり、繰り返し発症する患者さんを目の当たりにして、下肢切断を未然に防ぎたいと考えました。足病変の知識を深く適切なケア方法を学び、資格を取得しました。

現在糖尿病外来では初診時にフットチェックを行い、血液透析センターでは各患者さんに週一回のフットケアを実施しています。その際にケア方法や爪の切り方など指導し、患者さん自身が病気について正しく理解し、自己管理へ行動化できることを目標にしています。

セルフケアに関心の薄かった患者さんが、足のことについて相談してくださると、地道な活動が伝わっていると実感でき、また励みになってこれからの頑張りにつながっていると思います。これからも自分の足で生活できるように患者さんとともに考えていくことができる看護をしていきたいです。

市立湖西病院

色山麻奈美
木本 由佳



● 職能委員長にきく ●

仲間の力を結集しよう！一人でも多くの保健師の入会を！

保健師職能委員会

職能委員会は、職能として基本的な事項に取り組む、最もベーシックな委員会です。“看護しずおか”では、今年度静岡県看護協会の4つの職能委員会の委員長に平成24年度の具体的な活動や職能として抱える課題についてお聞きしています。

4回目は、保健師職能委員会の平井弘美委員長にお聞きしました。



Q 保健師職能委員会として、どのような活動をめざしていますか？

一番には、現場にいる保健師がいきいき働くことができる環境づくりをめざしています。

保健師の働く環境は、大きく変わってきています。行政で働く保健師は分散配置され、新人が一人で配置される状況もあり、その中でも保健師がいきいき働くことができるような現任教育がとても大切です。これまでの研修は、新人から管理職まで一緒に研修をしていましたが、新人、中堅、管理職といった各時点を捉えた職能としての研修体系が必要だと考えています。

また、保健師教育の大学院化については、多くの関係者との議論を重ね、県知事及び県立大学学長あてに提言書を提出しました。その後、県からは保健師の専門性と質の確保をするため、地域実習の人数制限が出されました。協会ではさらに「保健師教育の大学院化」に向けての活動を続ける必要があります。

Q 平成24年度の主な活動について紹介してください。

平成24年11月10日(土)に開催しました保健師職能集会です。自分の医学的な知識に基づき対象者が納得できる保健指導をするために、病態生理に基づいた保健指導とは何か、保健指導の目的や保健師の役割に重点をおいた活動の基盤となるための研修を企画しました。

Q 保健師職能集会の具体的内容と成果について聞かせてください。

午前中は『保健師をとりまく現状と課題』について、私から報告させてもらい、その後『保健師の保健指導に求められるもの』と題し、保健指導の基本的なことを梅花女子大学三輪真知子教授、午後は『健康長寿をめざした健康づくり』と題し、いかに予防が大事かということで、浜松医科大学尾島俊之教授に講演していただきました。参加者は80名で、参加者からは「保健指導の基本的なことを考える良い機会になった」「これからの高齢化社会における保健活動はどうあるべきか考えることができた」などの感想が聞かれました。



穏やかな表情と口調の中に平井委員長の保健師活動や教育に対する熱い思い、御自身の経験から職能団体である看護協会への入会の必要性など多くを語っていただきました。お忙しいところ、ありがとうございました。

Q 保健師活動指針の見直しがされているようですが、そのことについて教えてください。

保健師の活動状況に即した指針の必要性から、10年ぶりに見直されることになります。見直しの主な内容は『統括保健師』の位置づけ(定義と役割)、保健所保健師の役割、地域を担当する保健師の専門性の明記、地域包括支援センターでの保健師の役割などです。保健師一人ひとりが関心を持っていただき内容を理解し、そして活用をしていただきたいと思います。

Q 保健師の看護協会加入率は、看護師、助産師に比べかなり低く、40%を割っていますが、平井委員長が看護協会に入会したきっかけと委員会として会員拡大のためにやっていることを紹介してください。

私は、町の保健師として地域や病院と連携しながら活動していく中で、昭和50年頃、職能団体である看護協会を知り看護職として広い視野で物事を考え、活動していくことが大事だと考え入会しました。行政に働く看護職としての方針や方向を大勢の仲間から得られたことは、私の保健師活動の大きな糧となりました。保健師として就職すると同時に「職能団体である看護協会に入会する」といったシステムを作っていくことも必要だと感じています。

現場で働く保健師の実情を把握、意見集約し、それを政策的に提言していくことが看護協会の大きな役割の一つです。その目的を達成していくためには、一人でも多く入会していただくことが大切です。

今年度は、入会の呼びかけのためリーフレットを作成し、全施設に配布しました。



Q 最後に、後輩保健師にひとことお願いします。

毎日忙しい業務に追われていることと思いますが、保健師は“森を見て、その中の1本1本の木を見る”ように、地域全体を把握する中で、住民の一人一人が生き生きと生活でき、また保健師自身も楽しく活動できるような体制づくりに努めてほしいと思います。



教育研修部だより

看護協会セカンドレベル教育課程で学んだこと

静岡赤十字病院 石川 睦子

認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程が終了した。まだ暑さが残る9月から始まり、12月中旬までの4か月間は季節を感じる余裕がないほど充実した日々だった。開校式では35名の「同期生」と初めて顔を合わせた。素晴らしい講師の方々から最新の日本の医療情勢と看護問題を、楽しく学ばせて頂いた。教育内容は管理に活かせるように組み立てられ、自己課題が明確になるように配慮されたものだった。度々のグループワークでは、仲間の問題は見えるのに自身の課題が明確にならない、また仲間の言葉にはっとして気づかされることも度々あった。とはいえこの期間は病院に戻れば山のような仕事と向き合いながら、課題にとりくむため病院の図書室でパソコンに向かう日々が続いた。考えては書き直しの連続で苦しかったが、研修室で皆の顔を見るとだれもが同じと感じた。「35人の仲間が財産だよ」と言われた翌日、仲間の一人がパソコンを持参し、名簿作

りが始まった。

多くの病院から参加した35名の仲間との出会いは偶然ではなく、必然であったと思う。研修での学びは実践につながるステップであり、実践を通してまた足元を見つめるのだと思う。「75歳まで働きましよう」も実践課題の一つと捉え、看護管理者の一人としてまず一歩を踏み出していきたい。



お知らせ

看護研究と倫理

人間を対象とする研究では、研究に参加する人々に害が加わることはないか、不利益を被ることがないか、研究のすべてを知らせてあるか、参加の可否について自己決定できるようになっているか、また、公正な取り扱いやプライバシーの保護が配慮されているか、等の倫理的課題の検討が求められています。そのため、研究発表では、研究倫理委員会で研究計画書の承認を得ていることが必須になっています。

静岡県看護協会では看護研究倫理委員会を設置しています。施設に倫理委員会の設置のない会員の方は、教育研修部までご相談ください。

ナースセンターだより

平成24年度セカンドキャリアセミナー“グッドライフをめざして”を開催しました。

日時：平成24年12月19日(水)午前10時00分～午後4時00分

場所：静岡県看護協会会館第1会議室及び第1研修室 受講者数 64人

県看護協会望月律子会長の「はじめの一步」のお話しは、何事も1歩を踏み出す大切さと、退職後は生活の自立と社会的自立が特に必要と実体験に基づいた内容で受講者の心に残り、勇気と感動を与えてくれました。続いての講義「充実したセカンドライフは早い段階からの準備が決め手」ではファイナンシャルプランナー大林香世氏よりライフプランから考える老後の必要資金等具体的な貯蓄や年金投資信託について学び、今後の人生設計を考える機会になり、講義の時間がもう少し欲しい等の意見がありました。午後は静岡県総合健康センター指定管理者シンコースポーツ株式会社健康運動指導士の平田基晴氏の楽しい講義と実技「元気に働き続ける秘訣(こつ)ーいきいきウォーキングー」を行い、日常生活に気をつけることで筋肉が鍛えられる事を学び美しく歩くことの大切さを意識しました。受講生からは「とても楽しく気分も頭もすっきりし、また参加したい」等の感想が寄せられました。笑いの中、頭を使い体を使う研修は盛況に終わりました。



大腰筋体操
頑張りました

【再就業準備講習会(第10回)】

日時：平成25年2月4日(月)～2月6日(水)

会場：静岡県看護協会会館

再就業を考えている看護職の皆様！今年度はこれが最終です。是非受講し、再就業に繋げてください。

<静岡県ナースセンター連絡先>

本所 TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762
東部支所 TEL/FAX 055-920-2088
西部支所 TEL/FAX 053-454-4335

職場や学校での悩みごと相談は
ナースセンター悩みごと相談窓口へ
(9:00～16:00)

(専用ダイヤル) 054-202-1780

出張悩みごと相談(2会場)

日時：毎月第1金曜日10:00～15:00
場所：看護協会西部地区支部事務所

日時：毎月第3金曜日10:00～15:00
場所：看護協会東部地区支部事務所

問い合わせ先：054-202-1780

看護協会 総務部

第62回通常総会・講演会開催のお知らせ

開催日時 平成25年 2月25日(月) 9時30分受付開始
会場 静岡県コンベンションアーツセンター
 グランシップ中ホール・大地
内容 平成25・26年度 静岡県看護協会推薦委員選出
 平成25年度事業計画(案)・当初収支予算書(案)・
 平成24年度補正収支予算書(案)
 公益社団法人静岡県看護協会総会運営規則について
その他 ①本総会は平成24年度会員が対象です。
 ②出席者は出席報告を、欠席予定者は委任状の提出をお願いします。
講演会 テーマ「超高齢社会へのそなえ
 ―介護保険法はなぜできたか―」
講師 おおもり わたる
 大森 彌氏 (東京大学名誉教授)

看護協会 教育研修部

第1回 静岡県看護学会

看護実践を語ろう 一人ひとりの物語を大切に

開催日時 平成25年 3月9日(土) あざれあ 10:00～
参加費 下表参照
 ホームページから申込できます。
 (当日参加は、抄録がない場合もあるので事前申込みをお願いします。)
申込締切 平成25年 1月31日(木)

区分	事前申込み	当日申込み
会員	2,500円	3,500円 (会員証の掲示が必要)
会員外	3,500円	4,000円
学生 (看護師免許未取得)	500円	500円

医療・安全情報 平成24年度 第5弾

Team STEPPS ～医療安全から患者安全への転換～

社会経済福祉委員会

医療安全をとりまく動向・ここに注目！

TeamSTEPPS ～チームのパフォーマンスを最大限に活用するためのフレームワーク～

近年アメリカで注目をされはじめた医療安全を推進するためのフレームワーク(枠組み)があります。医療におけるチームパフォーマンスを向上するために、エビデンスに基づいて開発したものです。目的は患者のアウトカム(目標とする治療結果)を最適にすること。それが「TeamSTEPPS」(チームステップス)です。軍の病院などで「TeamSTEPPS」を導入し、医療安全の推進・質の向上に成果を挙げています。

11月17日、医療・看護安全担当者交流会では、立教大学社会学部社会学科教授大生定義先生をお招きし、良好なチームワークの確立、医療行為全過程において安全性を高めるための「TeamSTEPPS」について講義、演習、グループワークを通して学びました。演習ではリーダーシップ、コミュニケーション、相互支援、状況モニターを体験しました。グループワークでは自由に言える風土について体験し、問題を共有し、意見交換により交流をはかりました。今月号では「TeamSTEPPS」について少し紹介します。

様々な職種で構成されるケアチームが、チームのパフォーマンスを改善し、より安全なケアを提供し、組織の文化を変えていくために、4つのコアが必須だと提案しています。4つのコアとは、リーダーシップ、状況モニター、相互支援、コミュニケーションにおけるコンピテンシー(顕在化能力、業績直結能力)です。

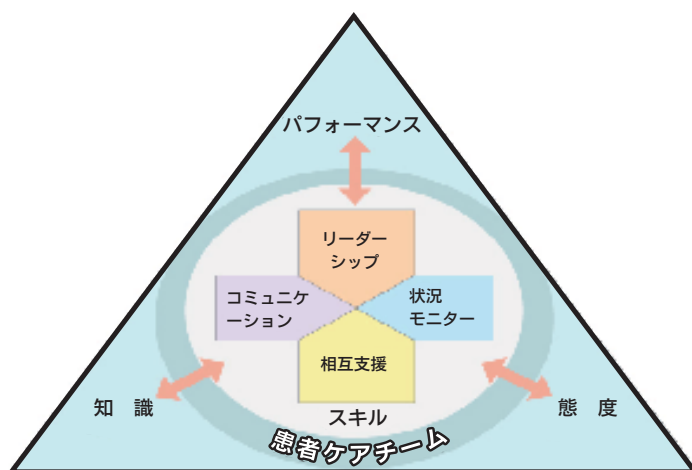
例えば・・・相互支援

CAS (カス)
 C=気になります(Concern)
 A=不安です(Uncomfortable)
 S=安全の問題です「中断してください」(Safety Issue)

例えば・・・コミュニケーション

SBAR (エスバー)
 S=Situation(状況) 患者に何が起っていますか？
 B=Background(背景) 臨床的背景と状況は何ですか？
 A=Assessment(評価) 何が問題だと思いますか？
 R=Recommendation and Request(提案と依頼)
 それを解決するには何をすればいいですか？

TeamSTEPPSの4つのコアになるコンピテンシー



「TeamSTEPPS」で必須と言われる以上の事を **あなたの職場では、自由に言える風土がありますか？**

社会経済福祉委員会では

医療・看護安全担当者交流会において医療安全についての研修を取り入れています。

ご支援ありがとうございます

■賛助会員…8 (法人・団体)

・医療法人社団駿甲会 介護老人保健施設 コミュニティーケア吉田 ・静岡放送株式会社 ・株式会社静岡新聞社
 ・公立森町病院 ・株式会社ガリバー静岡店 ・東洋羽毛東海販売株式会社 ・SMC商事株式会社 名古屋支店
 ・株式会社トータル保険サービス 横浜支社

■賛助会員…2 (個人)